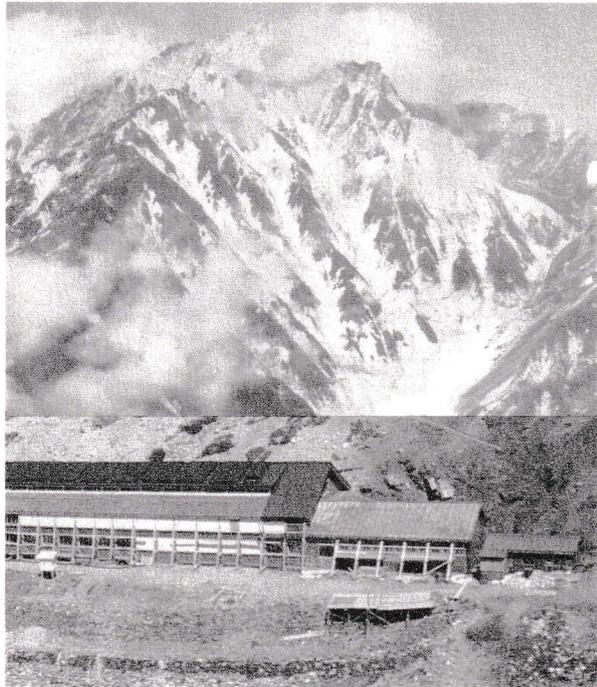


# ファミリーウォーク'90 白馬岳・栂池高原へ



昭和シェルクラブファミリーウォーク'90は8月3日(金)5日(日)、89名の参加者により行われました。

3日(金)午後11時、各人思いの服装にザックを背負い、霞が関ビルより2台のバスに分乗して、一路白馬栂池高原にむかって出発しました。途中雨まじりで心配した台風の影響もなく、翌4日(土)早朝白馬駅に着いた時は快晴、朝日にくっきり映えた山々に胸をおどらせながら、ここから各班別行動に入りました。スケッチ班、散策班とわかれて登山班41名は午前6時15分、猿倉より白馬岳への登山の一



昭和ソーラーエネルギー提供の西瓜をファミリーウォーク小林委員より白馬山荘マネジャーに贈呈

歩を開始しました。午前8時50分、大雪渓入口にて各自アイゼンをつけて、一歩々々根雪を踏みしめ一列縦隊で前進。真青な空、人間の数倍もある落石、細かい石の群、クレバス等々、大雪渓をいるどる自

然のシンフォニーは、我々を畏敬と限りなき想像の世界へと誘いました。今年は何年より雪が少ないとのことでした。雪渓が終わると色とりどりの高山植物のお花畑へと出ました。可愛い「チシマギキヨウ」、「トリカブト」の目にしみる紫、「ミヤマキンバイ」、「チングルマ」、「イワカガミ」、その他、名も知らぬ花々の間をあえぎながら登った炎天下9時間、白馬山荘に着いた時は汗とどの乾きで、皆、息もたえだえでしたが四方をめぐる変化にとんだすばらしい山々と多様な雲の動き、殊に手とどきそうに間近な剣岳の雄姿、背後の雲海の彼方の槍ヶ岳にむかって、「しあわせ！」と声をあげました。

先日、昭和シェル石油の関係会社の昭和ソーラーエネルギーがNEDOに協力して設置、竣工式を行った太陽光発電システムのパネルが我々の泊まる白馬山荘の屋根に設置されているのをこの目ではっきりと確かめることができました。1500名収容の日本最大といわれる山荘も1300名余の宿泊者と連日の高温のため、深刻な水不足に見

舞われ、朝飯もたけないうとどかされました。

翌5日の日曜日快晴、午前5時10分出発。白馬山頂へと歩を進めました。

標高2933mの山頂よりの大展望を満喫し、午前6時10分、三国境にて、雲海を見下しながらの朝食としゃれこみました。ガレ場をピンクにそめた「こまくさ」との出会いに少年少女時代を想い、飛び石つたいのおっかけっこ等に、数々の思い出をつくりつつ、澄みきった白馬大池を経て下山、栂池駐車場にてスケッチ班、散策班と再会しました。

スケッチ班、散策班は、白馬ケーブル駅よりゴンドラ、アルペンリフトを乗りつき八方池までのトレッキング等を楽しみました。すばらしい山々、高山植物等を題材としたスケッチから美しい作品が数多く生まれることでしょう。

晴天にめぐまれ、89名全員が無事に帰宅できたことは本当に嬉しいことでした。皆さん、また来年も昭和シェル石油ファミリーウォークでお会いしましょう。

(長瀬)